

新年のごあいさつ



越前町長

内藤 俊三

新年あけましておめでとうございます。町民の皆様には、平成28年の新春を穏やかに過ごされたこと、お喜び申し上げます。旧年中は、町政に対しましての格別のご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、越前町合併10周年にあたり記念式典を挙行し、多くの町民の皆様とともに、10年の歩みを振りかえり、喜びをわかちあいました。そして、合併後の越前町をお導きいただいた先輩の方々に深く感謝を申し上げます。ふるさと越前町を未来の町民に誇りをもって引き継ぐことができるよう、一層の努力を誓いしたところであり、新年を迎え、決意を新たにしているところでございます。

昨年を振り返りますと、2015年は、社会保障・税の一体改革の一環として、子ども・子育て支援新制度が本格的にスタートする年でありました。町では、町の子育て支援計画の策定に、子育ての当事者の方々からご意見を聞くため、越前町子ども・子育て会議を設け、支援内容の充実と子育てするご家庭を力強く支える体制を作らせていただきました。誰もが「越前町で子育てしたい。」と思っただけできるよう、力を注いで参りたいと思っております。

2年前、町内の空き家実態調査を行い、町内に661棟の空き家を確認いたしました。昨年は、その空き家の有効利用として空き家バンクへの登録をお願いしたところ、これまでに2件の売買が成立いたしました。

また、都会等から自然豊かな農山漁村へ移り住むことを希望される方々を誘致するため、町内の空き家を紹介するほか、昨年は越前地区の海に近い空き家をリフォームし「移住と二地域居住体験施設モハーージュ」をオープンし、8件の方々に60日間利用いただきました。今後、内陸部にも同様の体験施設を設置し、都会から越前町への人の流れを増やしたいと考えております。

観光では、越前町観光連盟が（一般社団）法人化され、旅行業登録も済ませ、越前町の観光情報発信拠点として4月から着地型観光案内をはじめました。前年度にオープンしました「道の駅越前」は順調に来場者数を伸ばしており、越前海岸から内陸部の見どころへ、学び・体験・味わい等の観光による新たな人の流れを創りたいと思っております。

昨年は、越前二の宮神社の国宝「梵鐘」が町に寄託され、町立織田文化歴史館で常設展示しております。梵鐘にまつわる古代史のナゾや戦国武将織田信長公



越前町議会議長

木村 繁

町民の皆様、新年あけましておめでとうございます。ご家族お揃いで清々しく健やかに新春をお迎えられたことを心からお喜び申し上げます。

旧年中は、町議会活動に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り、心から深く感謝申し上げます。

また、私事ではありますが、昨年4月に議長に就任し、以来、町民の皆様信頼される議会を目指して、全力で議会運営に努めてまいりましたが、まだまだ至らぬ点も多くあろうかと存じます。今年も議員一同、力を合わせて町民の負託にこたえられるよう、努力を傾注してまいる所存でありますので、旧に倍してご指導ご鞭撻の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、昨年は、戦後七十年の節目を迎え、国政では、安全保障関連法案の成立や、PPP協定の大筋合意、選挙権年齢の引き下げなど、まさに国の政治、経済の仕組みを大きく変える歴史的な転機的一年となりました。また、人口急減・超高齢化という我が国が直面する最大の課題に対し、国と地方が一体となって持続的な社会の創生について考え、行動する年

ともなりました。

一方、民間では、国産初のジェット旅客機が初飛行を果たし、更には国産ロケットによる初の商業衛星打ち上げ成功など、ものづくり大國日本の誇りを取り戻すとともに、今後の日本経済の成長に弾みをつける一年となりました。

そうした中で、本町は昨年2月に町村合併10周年を迎え、将来の飛躍に向けて新たな一歩を踏み出しました。6月には統合のあさひ保育所、8月には朝日児童センターの建設に着手し、学校給食センターについても、4地区統合の給食センターを建設することで計画が進められています。これにより、合併時に作成された新町建設計画に掲げられた主な事業がほぼ遂行される見通しとなり、一つの町としてのかたちがようやく整うこととなります。その一方で、合併時の人口2万5千人を維持する目標は、人口減少時代を迎え、達成が難しくなり、昨年実施された国勢調査においても、その数を大きく減らしているとのことです。町のバロメーターである人口が年々減り続けることは誠に残念ですが、町のかたちが整いつつある今こそ腰を据えて人口の維

ゆかりの神社など、越前町の歴史も観光案内し易くなりました。

他にも、食のブランド戦略として、越前がにの最上級ブランド「極」と、鮮度のよさを売りにする「越前ガレイ」を新たな越前ブランドとして売り出しました。地元の漁業や観光業の励みになるよう、積極的にブランド価値をPRして参ります。

さて、越前町の高齢化率は、平成27年に30.1%に達しており、近年、毎年約1%ずつ上昇しています。一方15歳未満の全人口に対する割合は12.4%で、毎年約0.2%ずつ下がってきており、町の人口減少の抑制は待たなしの状態にあります。町は、人口の中長期的な将来展望「越前町人口ビジョン」と、人口減少の抑制と町の活性化対策として5年間の取り組みに関する基本目標、具体的な施策並びにその目標値を定めた「越前町総合戦略」を昨年10月に策定し、その概要を町広報並びにリーフレットで各ご家庭へお知らせいたしました。

今後、こうした厳しい状況を乗り越え、心の豊かさや日々の暮らしに喜びを実感できるまちづくりを進めていくため、町民の皆様と協働しながら、自治力をさらに高めなければならぬと考えております。さらには、時代の潮流を的確にとらえ、新たな視点で過去の歴史に学びつつ、先人が幾多の苦難の中から築き上げてきた地域の力を発揮しなければなりません。皆様のご力で以上のご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。

年頭にあたり、町民の皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

持増加に向けて、全力で取り組むべきと考えています。

幸い、25年度より進めてまいりました朝日南部工業団地の企業誘致が決まり、28年度には旧朝日中学校跡地の住宅団地の分譲も始まる予定です。また、昨年度整備しました道の駅「越前」は、今年の3月頃に、入場者100万人を達成するとの朗報もあり、町の活性化に向けて明るい兆しも見え始めています。

ご承知のように、都会では、ふるさと志向の高まりから、20代、40代の子育て世代を中心に、ふるさと暮らしを希望する都市住民が増加しています。こうした時代の潮流を的確に捉え、新しい年には、若い世代が自らの希望に添って、本町で生活し、結婚、出産、子育てができる環境の整備と、人口減少を克服するための効果的な社会システムの構築を町理事者と共に力を合わせて、進めてまいる所存です。

年頭にあたり、町民皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げまして、新年のごあいさつとさせていただきます。